

八丈島 水産だより

5月号
2014



ハマヒルガオ



椋立地区のこいのぼり

大きなこいのぼりが、島の青い空を元気に泳いでいます。今年の大連休は、暦の並びで飛び石連休となりましたが、八丈島は、たくさんの観光や釣り、ダイビングを楽しむ人々にぎわいました。底土海岸では、早くも海水浴を楽しむ家族連れも見られました。

春の大潮とも重なり、大きく潮が引いた岩場では、魚の子どもやアメフラシ、ヤドカリなどのさまざまな生き物を観察することができました。海岸には、ハマボスの白い花が満開となり、薄いピンクのハマヒルガオや黄色いコマツヨイグサの可憐な花が咲いています。

■カツオはどこに？

「目に青葉 山ほととぎす 初鯨」という句があります。が、初夏の初鯨の時期になっても、全国的にカツオの漁獲量が少なく、ニュースにもなっていますが、八丈島も例外ではありません。

遠く赤道付近で生まれたカツオは、豊富なえさを求めて日本沿岸に回遊してきます。八丈島でこの時期漁獲される1～2kgのカツオは、小笠原から伊豆諸島を通過して北上するものや黒潮に乗って北上してくるものと考えられていますが、今年はその数が少ないようです。

カツオの曳縄漁



カツオ水揚げ



しま 島じまん2014



前回のようす



八丈島ブース



八丈太鼓

2年に1度の伊豆諸島・小笠原諸島のおまつり、東京愛らんどフェア「島じまん2014」が、今年24・25日に、島々への玄関口、東京・竹芝で開催されます。各島のブースでは特産品が販売され、八丈島からは漁協女性部のおいしい品々が並びます。ぜひお越しください。